学校での実例・イベントをご紹介

REPORT VOL.10 2026.01

CAMPUS SUPPORT ADSS

# 駒沢学園女子高等学校

## 「ユニフォーム事業体験プログラム」を実施しました！

東京都稲城市にある駒沢学園女子高等学校。同校では毎週土曜日に、様々なプロジェクト型学習を通して、将来を生きていく上で必要な発信力を身につけていく『Komajo Quest』という学びの時間があり、この取り組みの1つとして「ユニフォーム事業体験プログラム」を実施しました。

プログラムでは、生徒一人ひとりがADSSの社員になりきり、ストーリーに沿ってスクールユニフォーム事業の営業・企画・提案の業務をおこない、リアルなビジネス環境を体験していきます。

各クラス内でチームをつくり、初日は営業を体験。実際に学校の先生方に「制服のモデルチェンジを検討する学校の先生役」としてご協力いただき、生徒たちは営業ヒアリングおこないました。

2日目以降は、営業活動での内容をもとに、学校らしさの言語化や提案制服のコンセプト立案、コーディネートの検討など、企画・提案の業務にチャレンジ。最終日には各クラスから選抜された5チームによるプレゼンテーションを実施し、全生徒の投票により優勝チームが決定しました。

5日間を通して「ユニフォーム事業体験プログラム」で学べることである①職業理解の促進、②協働する力の育成、③愛校心・帰属意識の醸成をスタッフ一同肌で感じることができ、大変嬉しく思いました。

**カリキュラム実施概要**

開催日｜2025年8・9月の土曜日 各日2コマずつ
合計 5日間 10コマ

対象者｜3年生 5クラス 160名

KANKO THREEE

CAMPUS SUPPORT ADSS

## “制服” を通じて、楽しみながら協働する力を育む

生徒たちの感想を一部ご紹介します。

「制服をコーディネート・制作する授業があると知った時、とても楽しみでした。
自分の意思でリーダーを務めたいと思ったのが初めてでした。少し不安だったけど、
チームのみんなが率先的にアイデアを出してくれ、最後まで終えることができました。」

「仲間と協力して1つのものを作り上げる経験はなかなかない機会のため、
とても良い体験になりました。」

「“学校らしさの言語化”に最も苦戦した。落ち着きや清楚さといった抽象的な概念を、
制服デザインの色や形、素材でどう表現するかを話し合う中で、意見が分かれることも
あったが、仲間と意見を交換して絞り出して言語化することができた。」

「チームのメンバーと一緒になって制服を作り、全員の意見や考えをまとめることの難しさを
学ぶことができたと思う。この経験は、社会人になって他の方と協力をしてプロジェクトを
組み上げていく時に役に立つと思いました。」

## 「現役社会人からのレクチャーは生徒にとっても良い刺激に」

本プログラムをご担当いただいた菱山先生よりコメントをいただきました。
「“駒女らしさ”を言語化するにあたり、知っているようで知らなかった母校の特色について学べる良い機会になったと思います。高校3年生の2学期といえば、多くの生徒が総合型選抜や推薦入試を控えているため、探究授業に身が入らない生徒が多いです。そのような環境で生徒のモチベーションを保つためには、普段とは異なる刺激的な活動が必要と考えていました。このプログラムは、本校のニーズにピッタリと当てはまる内容でした。現役社会人の方々からレクチャーを受けたり、アドバイスや講評をいただいたりするのは、私たち教員だけではできないものです。大変貴重な機会をいただいたと思っております。」

KANKO THREEE